

公園整備

Q 下広天津池周辺の公園整備について

A さらに、補助金等の情報収集を行う

野田 町民が地域社会の中で豊かに生活できるインフラのひとつが公園であり、健康づくりあるいは、ふれあいの場として重要である。既に基本構想がある下広の天津池周辺、さらに上広校区の公園づくりの方針は。

町長 現在の計画は、天津池周辺の運動公園と石人山・弘化谷古墳公園と一体化したもので、事業、予算規模の大きなものとなっている。今後は、運動公園と古墳公園、それぞれに整備を検討しながら、別々の国庫補助金の適用がないかなど、さらに情報収集に努める。



公園整備が待たれる天津池



野田 成幸 議員



智徳城跡のミニ公園化を

Q 地域の公園整備への補助制度の創設を

A 検討を進めたい

野田 地域の公園等に対する補助金制度は平成3年度で終わったが、子供たちの遊び場を求める要望は多い。新たな助成制度はできないか。

町長 運動広場に関する補助金制度はあるが、地域からの要望に応えられないところもあると考えられるので制度改正を含めた検討を進める。

施設管理

Q 公共建築物のメンテナンスの状況は

A 町公共施設等総合管理計画に課題と方針をまとめている

池尻 町の公共施設は町及び住民の財産であり、利用に関して安全かつ必要十分な快適性が求められる。常日頃のチェック、定期点検、メンテナンスが必要と考えるが、町はどのようか。

町長 総合管理計画を策定し、課題と方針をまとめ、個別施設計画及び学校施設長寿命化計画において長寿命化、再整備や移設等の方針を定めている。

池尻 大規模改修を抑える事が大切で、日頃のチェックと定期点検が必要と考えるが。

町長 具体的に日常の維持管理、点検のマニュアルが出来ていない。異常箇所が分かっても維持補修が出来ていない箇所も多々あるかと思う。

池尻 木造建築も増えているが、異常箇所や管理点検の違いを感じるか。

町長 塗装の劣化が進む前に行うべきと考えているが、計画に細かく記されていない。検査、監視のためのチーム、組織づくりも検討している。



部活動

Q 部活動の地域移行はどのように進めるのか

A 多くが検討課題

池尻 以前から教師の負担軽減と、専門知識を持つ指導者によるレベル向上のために外部委託の進言をしてきた。現在の部活動の状況はどのようか。

教育長 責任感、連帯感、自主性の育成に、学校教育の一翼を担うものと考えているが、部活動加入率は5年前94%から本年度86%と下がっている。

池尻 外部指導のあり方について課題は多かったが、町の考えはどうか。

教育長 現在、中学校で外部指導者は7名。土日に指導をお任せしても、有事の際は学校に連絡が行く。色々な面で、100%教職員の働き方改革に繋がるものではない。



池尻 浩一 議員